

南無ちゃんのブログ 2015年7月

7月1日(水)	2015年2ndHalfの始まり.....	2
7月2日(木)	オイル缶で作るオトリ缶.....	2
7月3日(金)	日野川で坊主.....	3
7月4日(土)	7月1回目の防除作業.....	4
7月5日(日)	剪定鋏の改良.....	5
7月6日(月)	ブドウの粒間引き.....	5
7月7日(火)	検診バスで胃部レントゲン検査.....	6
7月8日(水)	粒間引きのマイルール.....	7
7月9日(木)	飼っていた鮎が.....	8
7月10日(金)	久世で鮎釣り.....	8
7月11日(土)	日野川(岸本)で鮎釣り.....	9
7月12日(日)	共同作業(草刈他).....	10
7月13日(月)	セカンドシャックの整備.....	10
7月14日(火)	1,280円(送料込み)のチャージコントローラ.....	11
7月15日(水)	久世(中川橋下流)で鮎釣り.....	11
7月16日(木)	シャインマスカットの袋掛け.....	12
7月17日(金)	マムシ退治.....	13
7月18日(土)	関ハム.....	14
7月19日(日)	九頭竜川遠征初日...とんびに鮎.....	15
7月20日(月)	九頭竜川遠征二日目.....	15
7月21日(火)	九頭竜川遠征三日目...強風.....	16
7月22日(水)	九頭竜川遠征四日目.....	16
7月23日(木)	九頭竜川遠征五日目...濁流+増水=撤退.....	16
7月24日(金)	三年目の桃の実.....	17
7月25日(土)	鮎飼育水槽用循環システムの製作.....	18
7月26日(日)	ピオーネの顆粒軟化期.....	18
7月27日(月)	7月2回目の防除.....	19
7月28日(火)	勝山(旭川)で鮎釣り.....	20
7月29日(水)	久世で鮎釣り.....	20
7月30日(木)	アンテナタワーの穴掘り.....	21
7月31日(金)	日野川(根雨)でリベンジ.....	22

7月1日(水) 2015年2ndHalfの始まり

今日から7月。いよいよ2015年のセカンドハーフが始まりました。今年は初めてブドウに実を着けるので、慌ただしく毎日を新鮮味を味わいながら過ごしています。

昨日の昼過ぎから降り始めた雨は午前9時頃には上がりました。雨が降っている間中は、パソコンを触って6月のブログ集を纏めたり、ホームページを更新したりして過ごしました。赤磐のKさんから「桃が美味しくなったよ！」という連絡があったので、販売して頂くための訪問しました。加納岩白桃という早生品種だそうです。これが、実に甘くて美味しいのです。

折角のチャンスなので、我が家の水槽で飼育している鮎を氷締めにしてお土産として持参しました。ピチピチ新鮮鮎です。本来はオトリ鮎として使う予定なのですが、狭い水槽に10匹以上居るので鮎の密度を少し下げることができました。



7月2日(木) オイル缶で作るオトリ缶

最近、蓋が簡単に着脱できる20リットルのオイル缶を見かけるようになりました。私は近所の車屋さんで譲ってもらいましたが、ホームセンターでも缶だけ売っているのを見かけたことがあります。このオイル缶を使って鮎釣り道具の一つであるオトリ缶を作ってみました。

私は普段シマノのオトリ缶を使っていますが、エアーポンプは使わず代わりにバスポンプで水をシャワー状にして循環させています。夏の暑い時などには熱いエアーを吹き込むと水温も上昇して鮎が弱りますが、シャワーだと気化熱を奪って涼しくなるという説があります。何はともあれ、シャワーで元気なオトリ鮎を輸送しています。

市販のオトリ缶の大半は直方体形状ですが、鮎が泳ぎ易いので円柱形の方が良いのだという説があります。

このようなことから、円柱形のオイル缶をオトリ缶にして、バスポンプでシャワーを浴びせられるようにしました。オイル缶は何度も台所用洗剤で洗ったのですが、水を入れると油が浮くような感じなので、試しに飼育中の鮎に入れてもらって試運転してみました。現場にオトリ鮎を連れて行ったら皆弱っていたなんてことだと困りますからね。

1時間半程、オイル缶のオトリ缶でシャワーを浴びてもらいましたが、元気一杯でした。実験成功！！

オイル缶のオトリ缶で実験をしている間、家の周囲の草刈をしました。その後、ブドウ園に行って

粒間引きをしました。午後から、粒間引きを残りを済ませてから、F1 MASAO で新アンテナファームの草刈をしました。やっぱり乗用草刈機は楽です。あっ！ちゅう間に終わりました。



7月3日(金) 日野川で坊主

朝1時間半程草刈をして、日野川に鮎釣りに出かけました。生山の霞に11時前に到着しました。天気は良いし、水位は平水で澄んでいます。でも釣り人は居ません。監視員の方と遭ったので話を聞いたところ、あまり掛からないため釣り人の数は減ってしまったとのこと。

それでも、かすみ荘前の道から鮎が見えたので、竿を出すことにしました。小さな鮎や大きな鮎が飛び撥ねるのを何度も目撃しましたが、1時過ぎまで粘ってもビクともあたりがないので、場所を移動することにしました。

生山の専用区にも誰も居ませんでした。ということは、やっぱり釣れないということなのでしょうか？

根雨のプロSPA宇田の下流あたりを国道から見ると釣り人が2人と鮎が確認できたので、津地橋の上流あたりから川に入りました。見渡す限りに釣り人は居ません。1時間半程粘りましたが、ビクとも反応がないので、4時前には川から上がりました。

日野川に来るのは解禁日以来1ヶ月ぶりですが、芳しくない釣果でした。



7月4日(土) 7月1回目の防除作業

天気予報では曇り後晴れだったので、朝一番から防除をしました。7月1回目の防除で、この作業の後に「袋掛け」をすれば、暫くブドウの世話から開放されそうです。

午前中はずっと曇り空で、今にも降り出しそうな天気でしたが、なんとか持ちこたえてくれました。

アフェットフロアブル、ランマンフロアブル、スカウトフロアブルを各2000倍に希釈して、200リットルの薬液を作って散布しました。今回も動力噴霧器は快調に動作してくれました。

防除作業の後に動力噴霧器やローリータンクの掃除をして、飼育中の鮎の水槽の水替えをしました。

午後から、電気柵の電源としてバッテリーを接続しました。このバッテリーは、以前キャンピングカーで3年間使用して寿命を感じたので新品に交換し、それまで使用していたものを保管していたものです。

バッテリー補充液を注ぎ足して、2日間程かけて充電していました。容量は130AHなので、寿命になったとは言え、電気柵の電源として使うのなら1ヶ月程度は持つのではないかと自分勝手かつ根拠レスな考えで、試しに接続してみました。定期的に電圧を測定して、電圧が低下するようならバッテリーを交換などの対策を講じることにします。

電気柵にバッテリーを接続したついでに、ブドウの世話をしました。新梢は既に25節程度伸びているので、延伸中の新梢の先端を摘心しました。新梢を一生懸命延ばしても、どうせ冬になったら18節程度で切り戻しするのですから、長く伸ばしても無意味だと思うのです。それよりも、摘心して枝を太らせた方が良いとの考えです。

摘心作業中に雨が降り出して、その内に激しく降り始めました。全部の摘心作業を完了したのは4時過ぎでした。



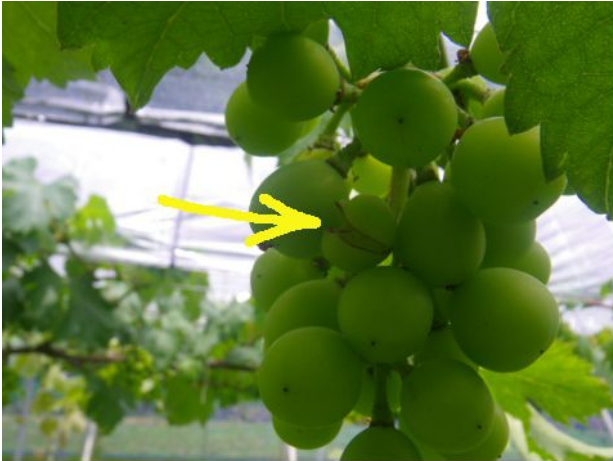
偶然ですが、農薬瓶のキャップが信号機の色みたいです。

バッテリーには防雨対策として、ビニール(ブドウ棚に張った残り)を被せて紐で縛っています。

7月5日(日) 剪定鋏の改良

粒間引きをしていると、時折写真(左)のように粒が裂けているものを見かけることがあります。今朝、近所のSさんのブドウ園に袋掛け直前の粒間引きの様子を見に行ったときに、裂果の件について相談すると、鋏の先が当たって傷が入ったことが原因かもしれないとのことでした。早速帰宅して使用中の剪定鋏を指に当ててみると、尖った感触でした。(写真右)

私の鋏の使い方が下手と言えればそれまでですが、道具の方で改良できるのならばそれに越したことはありません。早速ディスクグラインダーで鋏の先端を丸く削って、金剛砥石で研ぎました。これで、ブドウの粒に鋏の先端が当たっても傷つかないでしょう。



朝一番はブドウ園を囲うように設置しているワイヤメッシュの足元に除草剤を散布する作業をしました。ワイヤメッシュが邪魔になって草刈ができないので、代わりに除草剤で草を枯らそうという寸法です。ワイヤメッシュの上部には電柵のステンレス線が張り巡らされているので、草丈が大きくなってステンレス線に触れたら電柵が機能しなくなってしまうので、このようなメンテナンスが必要なのです。

午後から、ブドウ園で最終の粒間引きと玉直しをして袋掛け作業を開始しました。袋掛けさえ済めば一寸の間農作業から開放されますが、袋掛け作業は1週間程度の日数を要するでしょう。ブドウ作りも佳境に達したという感じで忙しい日々が続きます。

7月6日(月) ブドウの粒間引き

今日もブドウ園に行ってピオーネの粒間引き(仕上げ間引き)と袋掛けをしました。

ブドウの粒間引きというのは、文字通り、ブドウの粒を間引く作業なのですが、野菜の苗などの間引きとは少し目的が異なるように思います。野菜の苗などの間引き作業は、苗が繁茂し過ぎている場合に、苗の絶対数を少なくして、残った苗の生長をよくすることが目的です。なので、適当に(密度が均一になるように)数を少なくすれば良いのだらうと思います。

ブドウの粒間引きの場合、粒が生長するためのスペースを確保してやるのが目的です。写真左のような状態で放置すると粒が生長すると、粒の周囲に空間が無いため破裂してしまう可能性があるがあるので、粒を間引いて空間を造ってあげるのです。ですから、いい加減に数だけ減らせば良いというものではありません。空間が少なすぎると破裂してしまうので、よく観察して、成熟時の粒をイメージしながら間引き作業を行う必要があります。なので、熟練者ならいざ知らず、初心者には時

間のかかる作業なのです。

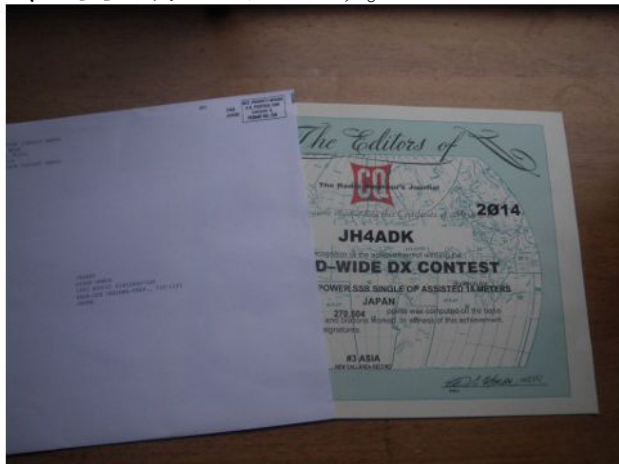
間引き過多の方が過少よりもベターなので、思い切って多目に間引くように心がけて作業しています。時折、間引いた後の粒を数えて、目標の35粒よりも少ないことを確認しました。今の時点では、粒間が「スカスカ」の状態にします。(写真右:粒間引き後)



7月7日(火) 検診バスで胃部レントゲン検査

今日は近くの公民館で集団検診を受診しました。朝飯抜きで、7時前に検診会場に到着しました。今日の検診内容は、1:大腸がん検査、2:前立腺がん検査、3:胃部レントゲン検査というメニューです。1は検便、2は血液検査による方法です。3は検診バス内に設置された例の上になったり下になったりの可動式ベッドによる胃部レントゲン検査です。検診バスでの胃部レントゲン検査を受診するのは始めてです。サラリーマン時代は日帰り人間ドックと称して各種の検診をしてもらっていましたが、検診らしいことをしてもらうのは久しぶりです。人間ドックにあるような広いフラットベッドではなく、コンパクトなベッドでしたが、私の体はコンパクトに出来ている上、やることは同じなので全く支障はありません。実にコンパクトに作ってあり感心しました。日立メディコ製の装置で、X線ディテクターはTHALES製でした。

8時半頃に全ての検診は終了し、帰宅して朝食を頂きました。日帰りドックのように弁当などは出ませんが、早めに終わって自宅で食事ができるので、こちらの方がベターです。



昨年10月に開催されたCQ WW SSB Contestの賞状が郵便で配達されました。ということは入

賞したということです。アシステッドシングルオペ 21MHz シングルバンド部門で、JA#2, ASIA#3 でした。

今日は梅雨らしく小雨の一日でした。午前中 2 時間と午後から 2 時間、ブドウ園で仕上げ間引き作業をしました。

7 月 8 日(水) 粒間引きのマイルール

今日も雨が降ったり止んだりの梅雨らしい天気でした。ブドウの粒間引き作業をするには快適とは言えないまでもそこそこ適した天気です。お陰で、今日まででピオーネの粒間引きは終わりました。雨が降っていたので、袋掛けはしませんでしたので、後日天気の良い日にまとめて袋掛けをしようと思います。

今年初めて粒間引き作業を経験したのですが、そこそこ慣れてきました。来年は量が多くなるので、もっとスピードアップする必要があります。「どの粒を間引こうかなあ？」なんて考えていたのでは、時間がかかって仕方ありません。そこで、自分なりの「間引きのルール」言わばマイルールに則って作業をすると効率的です。

なかなか他の人のマイルールなんて本やホームページなどで見たことがありませんが、次のように暫定的に独断と偏見で定めてみました。来年のための防備録としてまとめてみました。

- 1)優先的に、傷のある粒やハート型などに変形した粒を間引く。
- 2)内側を向いた粒を間引く。
- 3)上向きの粒や下向きの粒を間引く。
- 4)他の車の粒と軸が交差する粒を間引く。
- 5)一車の粒の数は最大 5 粒、原則として多くても 4 粒となるように間引く。

ピオーネの仕上げ間引きは完了したのですが、シャインマスカットの方は生長が遅いため、袋掛けにはまだ早そうです。



7月9日(木) 飼っていた鮎が・・・

今朝水槽をチェックすると飼育していた最後の鮎がお亡くなりになっていました。実は昨日も3尾昇天していたのです。飼育していると言っても給餌はせず、水替えをしたりエアープンプを回しているだけです。6月29日に釣ってきた鮎ですから、今日で10日目です。1週間位は持つだろうと思っていましたが長生きしてくれました。7月3日に日野川で不釣に終わったのが誤算でした。

今日は、やっと夏らしく暑くてムシムシした天気になりました。午前中はお日様が射す場面もあり、午後からは雨が降ったり止んだりでした。

朝からブドウ園で袋掛け作業をして、ほぼピオーネの袋掛けは終了しました。袋掛けをしている時に、ブドウ棚に鳥の巣を見つけました。中には卵が4つありました。どの鳥の卵なのでしょう？(スズメ？ヒバリ？ホトギス？それとも？？？)



7月10日(金) 久世で鮎釣り

朝9時までの約2時間でピオーネの袋掛けを完了しました。やったあ！！これで鮎釣りに行けるぞ！

9時から支度して、新庄川や旭川を見てオトリ屋さんに着いたら11時を回っていました。様子を聞くと、勝山の本流は難しそうです。なので、久世に行きました。今日は青空が覗いて暑くなりそうです。鮎が釣れても釣れなくても川に浸かって涼めば気分はサイコーです。

最初は橋の上流で竿を出しました。20cm以上もある良型の鮎がかかったのですが、それをオトリにして泳がせていたところ、上流から葦の枝が流れてきて、ラインごと切れてしまいました。残念！

とても気分が悪くなったので、ランチブレイクにしました。昼食後は橋の下流が空いていたので、竿を出しました。流れの芯は全く掛かりませんでしたが、少し下ったトロ場で良く釣れました。4時過ぎまでやって、プラス16の釣果でした。

結局18尾をオイル缶のオトリ缶に入れて、生かして持って帰ったところ、4尾位はグロッキー状態でした。生かして持って帰るときには、5尾程度に選抜した方が良さそうです。



7月11日(土) 日野川(岸本)で鮎釣り

昨日、久世で鮎釣りに行って聞いた情報によると、日野川の岸本は釣れるということだったので、幼馴染の鮎友であるHさんと一緒に出かけました。7時半頃に家を出発しましたが、片道2時間程の場所なので、到着したのは10時前でした。

行く途中、根雨や武庫、溝口などの専用区では釣り人を見かけませんでした。しかし、ここ岸本には多くの釣り人が押しかけていました。釣れる！ということの証のようなものです。噂によると、JFCの大会が明日、ダイワの西日本ブロック大会が7月20日に開催されるということで、下見の釣り客も多いとか・・・

国道の橋の上から観察すると、跳ねている鮎や水中を素早く泳ぎまわっている鮎が見えました。それ程、バンバン掛かっているという訳ではなさそうですが、釣れそうだという予感から確信に変わり、ムラムラッとしてきたので早速着替えて川に入りました。既に10時を回っていました。

最初、橋の上流右岸側で竿を出しました。なかなか掛かりませんでしたが、昼までに3尾程掛かりました。

午後からは、橋の下流左岸側の分流を釣り下って行くと、水位観測所の少し上のあたりで、斬流波のSさんと出会いました。高津川の大会以来の再会でした。結局、下流では5尾掛けて4時前になったので竿を畳みました。

今日の釣果は8尾でしたが、半分は20cm位の良型でしたので、まあまあ満足です。お日様が顔を出して良い天気だったので鮎釣りには最高でした。今日みたいな日に何か他の作業をやっていたら、きっと後悔したに違いありません。



7月12日(日) 共同作業(草刈他)

今日は朝8時から11時までの3時間は道路際の草刈、午後1時から3時までの2時間はお宮の草刈等の共同作業でした。日頃、刈り払い機で草刈をする場合でも、1日燃料タンク1杯までと決めているのですが、今日は燃料タンク2杯半位も作業したので疲れしました。

午後3時からお宮の総会があり、開放されたのは4時半頃でした。



7月13日(月) セカンドシャックの整備

鮎釣りに行こうと思って水槽をチェックすると、昨日まで元気に泳いでいた鮎達が3匹ともダウンしていました。水の交換を怠ったのがいけなかったのでしょうか？勝山のオトリ屋さんが休みのため、今日の鮎釣りは断念しました。

2つ目のシャック(無線小屋)であるコンテナハウスの整備をしました。晴れたり曇ったりの天気です暑い一日でした。午前中にコンテナハウスのシャッター側の上部に雨除けを設けました。これで、雨の日でもシャッターを開けて出入りすることができるようになりました。雨除けだけではなく日除けにもなります。ついでにディスコーンアンテナを設置しました。これで外から見てもシャックらしくなりました。

午後からコンテナハウス内部に机と棚(物置)を作りました。仮に無線機とローテーターコントローラを机の上に置いてみました。コンテナハウスの中はうだるような暑さです。今日は風が吹いていたので、外の方が余程涼しく感じました。少し作業して汗だくになったら外に出て休憩しました。



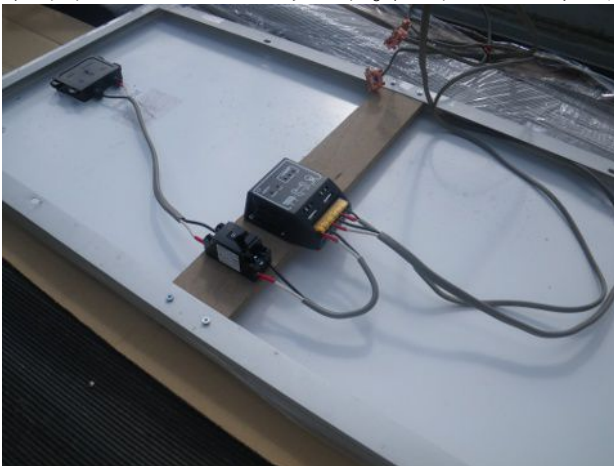
7月14日(火) 1,280円(送料込み)のチャージコントローラ

ブドウ園の周囲に張り巡らせた電柵「おじろ用心棒」の電源として車用のバッテリーを使用しています。このバッテリーにソーラーパネルから充電するようにしておけば、バッテリーの電圧低下を心配しなくても良くなります。

バッテリーは5年前に新調し、2年前に交換して退役したのですが、なんとか使えそうです。ソーラーパネルはキャンピングカーの屋根に付けていたものですが、ガラスにヒビが入ってお蔵入りしていたものですが、まだまだ発電能力はあるようですので現役復帰してもらいました。

そこで、唯一チャージコントローラを購入しました。この手のチャージコントローラを5年程前に、ネット価格約2,800円+送料約500円で購入したことがあります。最近では送料込みで1,280円で販売されていたので、早速注文しました。安物なのでPWM方式ですが、MTTP方式のチャージコントローラは1万円以上するので、やっぱり安さの魅力には負けました。

以前、ソーラーパネルを接続した状態でバッテリーを外して、この手のチャージコントローラを壊したことがあるので、ソーラーパネル側にはスイッチを設けて切断(切離し)できるようにしました。(写真のブレーカがそうです。)バッテリー等の配線が完了した後でONにします。



今日は鮎釣りに行きたかったのですが、先日ヤフオクで落札した新兵器(144MHz用15エレ八木2列2段スタック)が送料着払いで配達されるというので、家の廻りで農作業をしながら待つことにしました。

台風が近づいているので、防風ネットが「暖簾に腕押し」状態にならないよう細工するために女子竹を切って、設置する作業をしました。7時頃まで作業しましたが、3つの棚の内1つの棚は明日に持ち越しとなりました。

7月15日(水) 久世(中川橋下流)で鮎釣り

朝2時間程、ブドウ園で昨日の作業で残った部分をやって完成させました。丁度9時頃だったので、それから鮎釣りの支度をして勝山のオトリ屋さんに向かいました。勝山には11時前に到着しました。本流の釣り人は1名だけでした。オトリ屋さんの情報によると、今朝、追加放流をしたばかりとのことで、釣れるようになるのは1週間後ぐらいだそうです。

今日も久世に向かいました。過去2回来て入った場所とは違う場所に行ってみました。中川橋の

下流です。正面にはコロガシの釣り人が2名居られたので、もう少し下流に入りました。

竿を出して5分も経たないうちに最初の一尾目がかかり、幸先の良いスタートでした。二三尾掛けて釣り下ったところ、似鯉が掛かってしまいました。良い所で切れてくれることを願いながら上へ下へとついで廻ったのですが、仕舞には葦の足元に潜られてメタル糸の処で切れてしまいました。気分を悪くしたので、ランチブレイクにしました。

午後から橋の下流のコロガシの釣りの人が1名帰られたので、少し橋の近くに入ってみました。ポロポロとオトリがつながる程度に掛かりました。かなり良型の鮎も混じっていて15~21cmのサイズでした。

今日は暑い日でしたので、ウエットタイツにしたのは正解でした。暑い日は鮎釣りをして涼むのが最高です。結局5時過ぎまでやって、合計10尾の釣果でした。



7月16日(木) シャインマスカットの袋掛け

ピオーネに比べて開花時期が5日程遅かったシャインマスカットは、まだまだ粒が小さいのですが、大胆に粒間引きしたのが良かったのか、多少隙間があるので袋掛けをすることにしました。

台風11号(ナンカー)が四国沖にあるのですが、午前中は晴れ間が出て暑いくらいでしたので、袋掛け作業には支障なく順調に完了しました。

午後からは、車庫に車を入れてシャッターが閉められるように、車庫内を整理したりして過ごしました。雨が降ったり止んだりしましたが、風はそれ程強くなく穏やかでした。台風の最接近は明日早朝と予報されています。被害のないことを祈るばかりです。

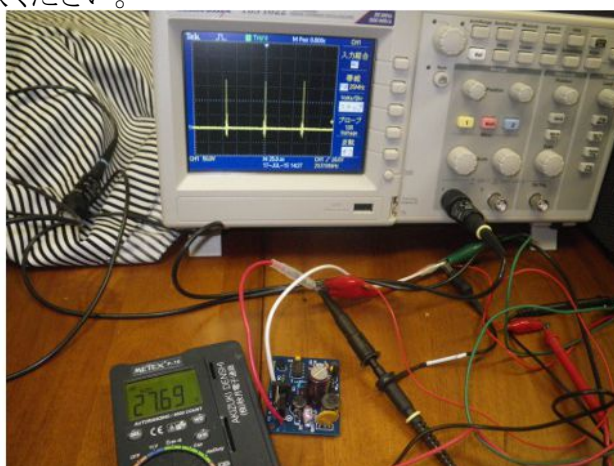


7月17日(金) マムシ退治

昨日のネタで恐縮ですが、ブドウ園に袋掛けから帰る途中、以前マムシをみかけたあたりを入念に観察しながら歩いていると、マムシがたたずんでいるのを見つけました。この時見かけるのが三度目でした。最初は1ヶ月程前、2回目は二週間程前です。マムシは同じ場所に居るといのは本当です。1回目も2回目も素手だったのでなす術もなく取り逃がしてしまったので、2回目に見かけた後で出沒地点に竹の先を尖らせたものを突き立てておいたのです。

3度目に遭遇した時には、退治するための道具が用意されていたので、容易に退治できました。最初は1本の竹で頭を突くことを試みましたが、外れてしまったのでマムシが逃げ出してしまいました。逃がしてはなるまじと腹のあたりを1本目の竹で押さえて、2本目の竹を取りあえず命中するように処構わず突き刺しました。その後で止めに、頭の辺りを狙いをつけて突き刺しました。

残酷だとか気持ち悪いと思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、毒蛇を放置することは私にとって危険なので、防除したまででするのでご容赦ください。



今日は台風がまともに岡山県を縦断しました。多分、午前8時頃我が家に最接近したものと思われます。午後3時頃には雨が止みましたが、それまでずっと雨が降っていたので一日中無線小屋で過ごしました。

5月の中旬に購入して組み立てたデサルフェータ(バッテリーが硫化して蓄電能力が減少することを予防する装置)の動作が今一だったので、ずっと放置していましたが、Kさんから借用したDC24Vの安定化電源を使ってデジタルオシロで丁寧に動作確認をしました。

DC24Vを供給しても基板のLEDが点灯しないし、定番のICである555のVccが印加されない状態のままで、パルスを出力するような状態ではありませんでした。ひょっとしたことから、電源電圧を27V程度まで上げてみると、LEDが点灯して約200Vppのパルス電圧が約30kHzの周波数で発生することがわかりました。なんだ！！そういうことだったのか！！

バッテリーを充電する時の電圧は12Vのバッテリーなら13.8V以上、2個直列にしたDC24Vだと27.6V以上なので、そのような高い電圧のときだけ動作するように設計されていたんですね?! キットとは言え、取扱説明書のようなものがなかったので、使い方が良く分からなかったのです。充電電流が流れている時だけ高圧パルスを掛けて電極が硫化するのを予防するという仕組みのようです。

7月18日(土) 関ハム

関ハムというアマチュア無線のイベントに出かけました。何かしらの刺激を求めて、初めて参加しました。Kanchanと一緒に別々の車で行きました。Kanchanは毎年参加されていて、主にDXCCのフィールドチェックをしてもらっているようです。私は、今年はパスして来年はフィールドチェックをしてもらい一気にオーナーロールになれたら良いなあと思っています。現在LoTWだけで234エンティティなので、今年の秋から冬にかけて頑張って15エンティティ増やして、250でエンドースメントを申請してから残りをフィールドチェックでコンファームして貰おうという考えです。

関ハムに行くために朝5時起床、5時30分出発、瀬戸PAでKanchanさんと6時30分に落ち合って山陽道を東進したのですが、台風は過ぎたと言うのに雨の影響で三木から先が通行止めでした。阪神高速や名神も通行止めなので、白鳥PAで待つことにしました。特に急ぐ用事ではないのです。待つこと約1時間、通行止めが解除されたようなので走り始めたのですが、目的の池田ICの手前5km位のところから渋滞していて、なかなか進みませんでした。結局会場近くに着いたのは10時頃でした。早い時間に行けば、会場の駐車場が空いているという目論見は見事に外れてしまい、周辺の有料駐車場を探して止めました。運よく1km位離れた場所で空いている駐車場を見つけて、タクシーを拾って会場に到着しました。

会場はハムベンションよりもハムフェアよりもコンパクトでしたが、アマチュア無線のイベント特有の空気に包まれていました。

中古やジャンクには特にそそられるものは無かったのですが、ICOMのブースでリモートコントロールソフトRS-BA1がバージョンアップされていて、バンドスコープを遠隔で見ることができるようになっていました。高級機ではバンドスコープが当たり前についているのに、遠隔操作では使えないというのには不便を感じていたのが素晴らしいバージョンアップです。説明員の方に聞くと、今日ICOMのホームページで既存のユーザーのためにバージョンアップが公開されているということだったので、帰宅したら早速試してみたいと思います。



7月19日(日) 九頭竜川遠征初日・・・とんびに鮎

昨夕から九頭竜川(福井県永平寺町)に来ています。

今朝6時頃に目覚めると、昨夕泥濁りだった川が笹濁り程度になっていて、水位も約40cm高ではあるものの、十分に鮎釣りができる程に回復していました。

とはいうものの日曜日としては釣り人の姿は少ない状況でした。先ず、飯島の一番瀬の瀬尻あたりからやり始めましたが、びり鮎が2匹かかったのみの状況で、やっとまもに鮎が掛かると喜んで慎重に取り込みをしていると、どこからとも無く鳶がやってきて、オトリ鮎と掛かり鮎の2つともかさらって行きました。こんなは経験初めてです。珍しい光景を見てしまいました。

午後から堰堤の上流のトロバに入って、8尾の釣果でした。1年ぶりに九頭竜らしい鮎に逢うことができましてハッピーです。



7月20日(月) 九頭竜川遠征二日目



7月21日(火) 九頭竜川遠征三日目・・・強風

今日は昨日よりも一段と減水し益々すクリアになりました。天気は快晴でしたが、午前も午後も強風に悩まされました。



7月22日(水) 九頭竜川遠征四日目

今日も昨日と同様に強い風に悩まされました。でも九頭竜川に風は付き物なので、何とか克服しなくてはなりません。午後から雲行きが怪しくなり、夕方には雨が降り始めました。アメニモマケズ、カゼニモマケズ・・・かな？



7月23日(木) 九頭竜川遠征五日目・・・濁流+増水=撤退

昨日からの雨のため、今朝起きてみると、九頭竜川は泥濁りで増水していました。この分だと、今日も明日も鮎釣りはできそうにありません。その上、週末は台風の影響を受ける可能性もあるので、ここは一まず撤退することにしました。本当は、もうちょっと鮎釣りがしたかったけど、次回に楽しみを残しておくことにします。

帰路は、中部縦貫道、北陸道、舞鶴若狭道、中国道を通りました。途中で何度か車内で横に

なって休憩しましたが、概ね曇りの天気だったので、クーラーや扇風機なしで過ごすことができました。



7月24日(金) 三年目の桃の実

「モモクリ3年カキ8年」と云いますが、桃の樹を植えて今年で3年目です。未だ若木なので、実を着けるつもりはなかったのですが、人工授粉しなくても実を着けました。おそらく、ミツバチ君達の働きによるものだと思います。2週間程前に袋掛けをしていたので、どうなったのか気になっていたのを見てみました。実は野球ボール位の大きさに生長していたのですが、残念ながら殆どの実が腐っていました。何の病気なのか調べてみたところ、ヤガにやられたようです。今年はダメですが、来年は防蛾灯でも設置してみようかしらと思いますが、あまり費用がかかるようだと趣味程度の軽いノリで栽培しているので考えものです。

今日は草刈デーでした。FIMASAOでブドウ園内、ブドウ園隣地、太陽光発電所、アンテナタワー下、新アンテナファームで刈りまくりました。昼間の暑い時間帯は休憩して、午後4時頃からブドウ園内の刈り残しを刈り払い機で草刈しました。



7月25日(土) 鮎飼育水槽用循環システムの製作

7月上旬に鮎を飼育した時にはエアープンプだけでしたので、徐々に水が汚れて行くのが分かりました。そこで、フィルターで浄化してはどうかと思ってポンプを仕入れていました。フィルターは、竹炭とホームセンターで売っている綿状のフィルターをコンテナに入れたものを自作しました。



午前中はブドウ園で草刈をして、ホームセンターに買い物にいきました。午後から鮎飼育水槽用循環システムの製作して試運転しました。このポンプは呼び水が必要なので、水を張った後の初回だけは一寸したコツが要ります。コツというのは、吐出口側のホースを水道の蛇口に突っ込んでポンプ室に水を充満させるのです。

3時頃から井戸の掃除をしました。10年程前から井戸水は殆ど使わなくなったので、それまで毎年夏になるとやっていた井戸掃除もしなくなっていました。先日井戸水を使ってみると、かなり砂が混じていたので、掃除することにしました。昔は全部の水をバケツで汲み出していましたが、今日は800Wのエンジン発電機で水中ポンプを駆動して井戸の水を汲み出しました。ほぼ全部汲み出したところで、深さ3m程の井戸の中に入って底に溜まった砂などをバケツで外に出しました。どれだけ効果があるのかは疑問ですが、気持ちだけはスッキリしました。

7月26日(日) ピオーネの顆粒軟化期

午前中はブドウ園で1時間半程草刈をして、昨日汲替えした井戸の蓋の修理を始めました。FRPでコーティングして、固めてやろうというプランです。今日のところは穴が空いている箇所をダンボールやテープで補修しました。

4時過ぎから再びブドウ園に行って草刈をしました。草刈をしている途中で、袋掛けを忘れたブドウの房を見つけました。ブドウの粒の色が緑から紫に着色し始めています。粒を触ってみると、少し柔らかくなっていました。専門用語で言うところの果粒軟化期になったのでしょうか。



7月27日(月) 7月2回目の防除

果粒軟化期になったので、7月2回目の防除を行いました。アビオンE 1000倍、オラクル顆粒水和剤 5000倍、パダンSG水溶剤 1500倍の薬液 200リットルを調整して散布しました。薬液の量は適量でした。今朝は少し早起きして涼しい内に作業を終わらせるつもりでしたが、暑い時期なので汗びっしょりになってしまいました。防除作業はブドウ栽培の作業の内ではキツイ仕事の一つです。収穫までにあと二回、防除作業をしなければなりません。



防除作業の後で、クールダウンを兼ねて、井戸の蓋をFRPでコーティングする作業をしました。エポキシ樹脂を500mlくらい使いました。適当に作業しましたが、取りあえず穴を塞ぐことはできましたし、強度も以前よりも強くなったと思います。

夕方、ブドウ園で1時間半程草刈をしました。

7月28日(火) 勝山(旭川)で鮎釣り

今朝も1時間半程草刈をした後で鮎釣りに出かけました。今日は曇りの予報でしたが、11時前に勝山に着くと雨が降り出しました。お腹も空いたので早飯にしました。昼飯を済ませた頃には雨も止んでいました。オトリ屋さんの少し上流のあたりから川に入りました。

釣り下って行く内に晴れてきて、陽射しが降り注いで暑くなってきました。2週間程前に追加放流した鮎なのか、小ぶりの鮎ばかりでしたが、ポツリポツリと釣れてオトリをつなぐことができました。生かして家に連れて帰りました。

明日も暑いようなので、鮎釣りに行こうと思います。とりあえず明日のオトリは確保できました。



7月29日(水) 久世で鮎釣り

今朝もブドウ園で1時間半程草刈をして鮎釣りに出かけました。暑い日は川に浸かるのが一番です。今日は久世に行きました。最初の一尾目がなかなか掛からず苦戦しましたが、なんとか元気鮎をゲットできました。元気鮎を確保できた途端にポツポツかかり始めて、なんとかオトリをつなぐことができました。



7月30日(木) アンテナタワーの穴掘り

今日も暑い日でした。家に居ると余計に暑さを感じてしまうのでしょうか？

朝一番はいつも通り、1時間半程草刈をしました。その後で、四五日前に修理した井戸の蓋の仕上げをして、井戸に取り付けました。FRPなので耐久性や防水に関しては問題ないのですが、何しろ物がガラス繊維なので、端面の処理が困りものです。井戸の蓋は、普段全く触らないものなので、端面を直接手で触れるとガラス繊維が刺さるかも知れないという少し危険な状態ではありますが、厚手の皮手袋をして井戸に被せました。多分、余程の渇水でもない限り、この先四五年は、この蓋を開けることはないでしょう。

午前中にブドウ園に行って草取りをしてみました。暑くて熱くて1時間もしない内に切り上げました。午後になっても灼熱状態が続いたので、戸を開け放した本宅の座敷で鮎の仕掛けの修理をしたり、ハナカン周りのセットを作りました。今日は鮎釣りはお休みにしましたが、こんな暑い日は家に居るべきではありません。明日は出かけるぞ！

午後4時を回って涼しくなり始めたので、新アンテナファームに行って、アンテナタワーの穴掘りをしました。今日は、ミニコンボのエンジンがかかるかどうかをチェックする程度の気持ちでしたが、深さ2m程のの穴(溝?)をいとも簡単に掘る事ができました。流石に機械です。私はこれまでに3本のクリエート製タワーと1本のパンザマストを建てたことがあります。すべて手掘りです。それも大抵は夏場の暑い頃に穴掘りをしていたような気がします。こりゃ楽だあぁあつ！！。こんなことなら何本でもタワーが建てられそうです・・・が、そんなことはしませんよ。

既に、12.5mのアンテナタワーとEMEの入門用としての144MHzの15エレ4八木(5.3mブーム)を入手しているので、後は建設するのみなのです。ここには4トンの生コン車が入ることができると思うので、簡単に建てられそうです。



7月31日(金) 日野川(根雨)でリベンジ

今日は町内の釣友であるHさんと日野川に出かけました。岸本を目指して出発したのですが、新見で道を間違えて神郷方面に行ってしまいました。仕方なく、上石見で花見口を通過して黒坂に抜けました。ついでに、根雨の川の様子を見てみると鮎が沢山に見えたので、一寸やってみることにしました。他に釣り人は見えませんでしたが、竿を出してみるとそこそこ掛かりました。

今日も暑い陽射しが降り注いでいましたが、川の中で鮎釣りに戯れて涼しい一日を過ごすことができました。

一月程前に、日野川(根雨)で坊主をくらいましたが、今日はリベンジできました。日野川は減水(濁水)のようです。

